



安養寺便り

弘法大師建立して寶鏡寺門跡の理安寺

安養寺便り
第38号
平成27年
8月吉日



夏の終わりを告げる 台風は、

夏の初めに、出入りの植木屋さんから五十株の紫陽花を寄贈頂き、その株には恵みの雨となりましたが、他方各地には大変な被害を受けることになりました。

現世の世界、人間の営みは自然界の荒波に揉まれながら日々、時には大いなる恩恵に浴し、ある時は険しい刃となつて我々の生活に容赦なく襲い掛かり、悲喜交々の人生を味わうこととなり、正に人の生きるさまを教そわるかのようでございます。

安養寺では、八月二十三日地元子供達の地藏盆を終え



施餓鬼会法要

たことで、二日の施餓鬼会から始まり棚経詣り（各家の御仏壇へのお詣り、271軒）、十六日のご精霊送り、盆踊りと無事終了することができました。偏に、ご本尊さまの御加護と、檀信徒各位のご協力の賜物と心より感謝を申し上げます。

台風は殊の外厳しかった夏をも追い去り、秋の彼岸会へとバトンタッチしてくれるようですが、残暑まだまだ厳しい折柄、御身お大切にお過ごし頂きますよう、日々ご本尊さまに檀信徒各位のご健勝をご祈念申し上げます。次第でございます。

住職、合掌礼拝



施餓鬼会法要

平成二十七年度（二回目） 本堂薬師堂修復管理 基金志納者

完納

- 一坪徹夫
- 福本経子
- 秦山良子
- 横山英雄
- 後藤千恵子
- 金子舜次郎
- 加賀田住江
- 山上高治
- 羽後富美子
- 大山和伸
- 岡本光代
- 高尾屹
- 吉羽弘子
- 石井幸保
- 野玉

弘法大師88ヶ所霊場
 東方山安養寺
 520-3015
 栗東市安養寺88
 Tel 077-552-0082
 Fax 077-552-9151
 URL touhouzan-anyouji.com
 E-mail to-anyouji@nifty.com

- 大西敦司
- 四方隆
- 川村多恵子
- 出井安正
- 紙崎和子
- 小川友子
- 瀬戸重雄
- 村上宗雄
- 石田敬一
- 熊谷純一
- 金井万平
- 兵井康久
- 吉津政昌
- 榎原孝司
- 坂中房子
- 山上高治
- 田口光彦
- 滝口敏彦
- 利藤力丸
- 時岡秀男
- 晶貴正巳
- 有友喜久子
- 今泉治武
- 千田二三夫
- 田中祐二
- 岩元俊子
- 米谷訓
- 林美照
- 岩崎皓二
- 松田義勝
- 安田昭
- 中西新次
- 長岡保子
- 山下滋子
- 中村佳代子
- 長濱吉章
- 西脇敏弘
- 平田恒美
- 薦田孝直
- 大野直

- 堂ノ尾勇人
- 矢代眞枝
- 大杉み子
- 坂田加代子
- 福井登志子
- 宇田美佐子
- 湯浅三郎
- 橋本律雄
- 岡本ツヤノ
- 岩井宏之
- 藤井宏之
- 鈴木政人
- 田中克和
- 金澤利美
- 杉本茂
- 山田憲作
- 石井康允
- 宇野洋一
- 木下繁一
- 山口久彦
- 山本勝彦
- 合田俊英
- 藤原宏
- 西村弘幸
- 岡田敏一
- 栗田俊一
- 河原邦祐
- 田邊夕子
- 北村貴子
- 坂口善行
- 高岡昭子
- 久保正智子
- 野口美智子
- 佐藤敬子
- 藤本敬浩
- 赤木弘之
- 勝部利之
- 加藤房成
- 衣川俊成
- 細川忠夫
- 吉川忠夫
- 井筒可恵
- 西川富子
- 宮崎藤子
- 沖田秀勝

- 林秀彦
- 豊田克樹
- 落田亨
- 有藤己
- 桑山康史
- 高田廉
- 井村智子
- 中川比佐夫
- 浅野利通
- 川野通夫
- 今林彰子
- 鏡原正子
- 松村裕美子
- 丹羽千代子
- 村岡昌彦
- 本郷みちる
- 原口道子
- 豊澤吉彦
- 廣瀬宗一
- 若林宗一
- 金村悦子
- 福田悦子
- 杉本悦子
- 松井二功
- 栗坂七郎
- 北森芳雄
- 桑山由喜子
- 松山下英三郎
- 森圭彦
- 石川定彦
- 田村実彦
- 寺本幸司
- 亀田勝代
- 山田俊行
- 塩飽賢一
- 青木優一郎
- 八木悦代
- 貝原光敏
- 松本幸雄
- 小松民雄
- 中西節子
- 小笠原正敏
- 吉長幸夫
- 土井貞子

裏面に続く

施餓鬼会祭文

維れ平成二十七年孟蘭盆会を営むに当り謹んで香花・茶葉・百味・五菓の稀膳を備えて一切の飢類に供ず。

茲に南閩浮提大日本国近江の国、栗東市安養寺、天平の昔しより真言宗きつての古刹なり。東方山安養寺觀音堂に於いて熊谷俊亮住職、僧侶、某甲そしてご詠歌大師流慈苑講山下登美宗大梵詠の講中の面々、恭しく現前の清衆を率い本尊觀世音菩薩の宝前に詣り、徴供を弁じて普く恒沙の功德を施し、法施を加して四末の群類を救はんものなり。竊かに惟れば抑々施餓鬼の法といつば、苦海を渡る船筏、楽岸に到るの津梁なり。これに依つて高祖弘法大師は帳に録して亡魂を弔ひ、源仁僧都は名を列ねて迷霊資く。先賢既に斯くの如し、後愚蓋ぞ勤

(つと)めざらんや。

往昔、インドにおいて釈迦の弟子で神通力第一と称されし目犍連・目連尊者は、非母・青提女の飢勞を救わんと欲つして、釈迦如来の勅命を受けて孟蘭盆会を営み設け、苦倒懸器の餉を備ふ。かの古風を扇いで施餓鬼の軌則を調へ、その旧流を汲んで過去帳の記録を致す。爾れば則ち芬芳の妙花を捧げて

精霊に播し清浄の冷水を掬んで亡魂に灑ぐ。方に今、名字を呼んで梵鐘を鳴らし、人数を拾うて回向を施す。先ず三國伝灯顯密の諸大師、一字教授祖師先徳、七世の父母、殊には今日の施主各々志を運んで念ずる所の一切精霊、六親眷屬親昵同朋同侶、一宿多年志施檀越、一文半偈結縁の弟子、そして当山において、安養寺を四十数年間に亘り護持され、俊亮住職と一体になり助教されし直子寺族夫人、法号寂光院覚苑慈祥大姉の霊位を弔つ。さらば念ずるとこのその他在々処々闘争合戦か群霊、年々歳々餓死病死の幽魂、或は有縁無縁隔りを捨てて弔ふ所の亡魂、その数誠に繁多なり。翰墨に違あらず。皆この砌普ねく末つて当会に集り同じく甘露の法味を嘗めて餓鬼饑饉の苦しみを離れ、解脱の法樂を受けて浄土の楽しみに到らんことを。仰ぎ願はくは微志の善根を以つて早く感応の誠を垂れ給え。願はくば受け給わらんことを。

乃至法界 平等利益
惟時平成二十七年八月二日
京都府向日市
龜光庵住職 土口哲光
謹しんで疏し、申す。

案内



毎月一日は本尊月並祭併せて写経をやっておりますのでご参加下さい。

- 九月二十三日 秋季彼岸会法要
- 十一月八日 秋の大祭 柴燈大護摩供修行 八十八ヶ所霊場巡り
- 十二月三十一日 除夜の鐘



「法話の様子

平成二十七年(二回目) 本堂薬師堂修復管理基金 志納者(前頁より続く)

一口

中島伸芳 大村勇 岩間義明 窪田啓子 山本喜三雄 佐藤木兵 金久秀司 木寺攸一郎 丹下篤則 堀内芳春 片山啓介 向保きくえ 久保きくえ 酒井清明 細谷卓爾 岩浅憲資 原川博善 中本謙二 南章 田中サダ子 岩谷鉄雄 父川慧始子 河田雅光 越北哲男 川北陽子 高畑幸子 後藤博之 福家義弘 岡田孝一 大倉省三 宮本博 大西正信 山本悦子 山下陽一 宮野節久 大久保綾子 末武隆成 横田達昌 守武秀憲

田上隆生 畑中治 井家上英樹 今池匡子 久木道夫 平井順廣 小谷晶則 小濱正行 多田昭雄 中道克司

8月14日現在の状況は
ご志納者数 194名
ご志納額 2,805,000円
沢山のご浄財を賜り有難うございました